

第37回人事院総裁賞 受賞者一覧

令和7年2月25日 事務総局総務課

◆ 多岐にわたる分野で活躍する人命救助のスペシャリスト



特殊救難隊に代表される高度な知識・技術を要する救助勢力として、
沖縄八重山諸島周辺海域をはじめ全国各地での人命救助活動に尽力。
ネパール大地震など海外での人道支援にも参画。潜水等の新手法導入
や他機関への指導・協力、後進の指導・育成、離職防止にも精力的に
従事し、国民の安全確保に大きく貢献。



▲転覆船内の生存者確認を行う様子



▲氷下潜水訓練を行う徳永氏(写真中央下)

◆ 迅速な立ち上げと消費者の視点で「無償の広報」のモデルケースを構築



▲SNS会議をする様子



▲プロジェクト関連動画の在日英国大使館での撮影の様子



▲SNSに投稿されたプロジェクトのロゴ

ALPS処理水(※1)の放出に伴う海外からの輸入停止等により、深刻な影響を受けた水産業支援のため、部局横断の広報プロジェクトを短期間で立ち上げ。ホタテ等の水産物消費(※2)の呼びかけが全国に拡散される「無償の広報」のモデルケース構築に成功。

※1 多核種除去設備（Advanced Liquid Processing System）等により、トリチウム以外の放射性物質について安全に関する規制基準値を確実に下回るまで浄化した水のこと。

※2 この間のホタテの国内消費額は約1.5倍増

◆ トキの「絶滅」から「野生復帰」を実現し、生物多様性に大きく貢献



▲野生のヒナに足環を装着する様子



▲地元の小学校での環境授業の様子



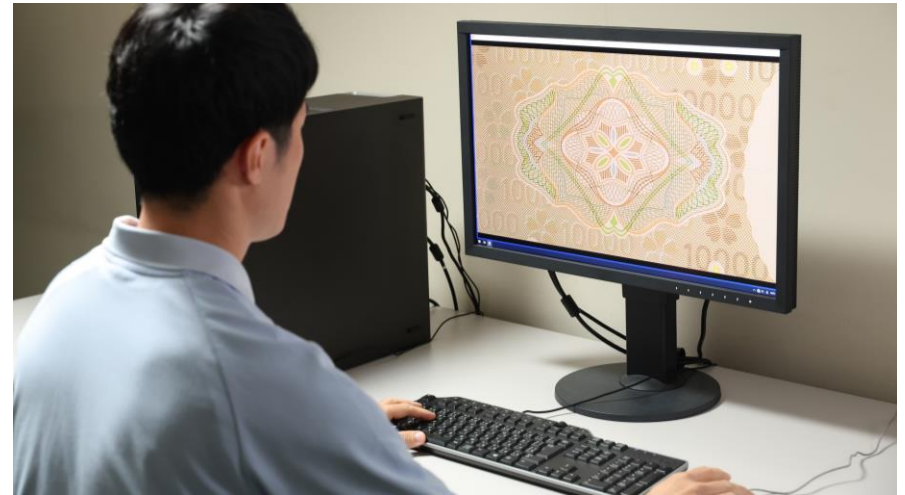
▲放鳥されたトキ

野生絶滅したトキについて、佐渡島内において推定個体数が500羽を超えるなど安定的に生息する状況を実現。地域住民の理解促進、生息環境の整備、科学的知見に基づく繁殖・放鳥等について、継続して丁寧な調整、対応に努め、日本の自然環境保全に大きく貢献

◆ 伝統技術とデジタル技術の融合で世界に誇るお札を実現



▲ お札のデザインを作成する様子



▲ お札の彩紋を作成する様子



▲ お札の原版の彫刻を行う様子

150余年にわたり継承してきた伝統技術とデジタル技術とを融合して、20年ぶりとなる新しいお札のデザインを作り上げた（令和6年7月）。長年にわたる伝統技術の継承と技術開発が、高い偽造防止効果の基盤となっており、日本の通貨に対する信頼性確保に大きく貢献